

市長所信表明への 代表質問

6月の多摩市議会第2回定例会では、市議会の5つの会派が代表質問を行いました(発言順に掲載します)。

所信表明とは、市長就任にあたり、就任期間である4年間について自分の考えや信念、市政運営の基本方針などを示すものです。

代表質問とは、市長の所信表明について、会派を代表し大局的見地から行う質問です。

なお、**市長所信表明**は**多摩市公式ウェブサイト**で、**代表質問**は**YouTube**でご覧いただけます。

また、会議録は9月上旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



所信表明
(令和4年6月)



YouTube
多摩市議会チャンネル



多摩市議会会議録
検索システム



新
政
会

山
崎
ゆ
う
じ

最期の時を迎えるまで安心して住めるまちづくりへ

◇健康都市の実現をめざして

- 問** 75歳以上の方の身体能力の維持と認知症予防が大きなポイントと考える。高齢者が現在住んでいる地域に安心して住み続けるために、市としてどの様に取組まれるのか伺う。
- 答** 多摩市版地域包括ケアシステムをさらに深化させる。
- 問** 特別養護老人ホームの待機者数が今後さらに増えると予想される。市の取組を伺う。
- 答** 必要なサービス量を計画的に確保できるよう努めていく。
- 問** 障がい者の「親亡き後問題」についてグループホーム、就労継続支援A型B型事業所は足りているのか、経済面など将来への不安を持たせない支援は十分できているのか。
- 答** 住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援の取組を進める。

◇持続可能な多摩市をめざして

- 問** 少子化への対策をもう一步踏み込んで対応すべきと考えるが、夫婦、親子、家庭への支援について市の考えを伺う。
- 答** 子どもの最善の利益を意識し取組を進める。
- 問** 太陽光発電を設置可能な場所に全て設置したとして市内のCO₂排出ゼロは達成できるのか。2050年CO₂排出ゼロに向け市が描くビジョンを伺う。
- 答** まずは2030年までのカーボンハーフに向け具体的な計画を策定する。
- 問** ロシアのウクライナ軍事侵攻から日米同盟及びアメリカの核の傘の存在が重要だと考える。市内アメリカ軍施設との交流について市の見解を伺う。
- 答** 施設との交流は重要であり取組んで行く。



日
本
共
産
党

小
林
憲
一

「平和・人権」推進、「ケアに手厚い」市政実現へ

◇憲法9条こそ戦争を起こさせないしくみ

- 問** 「国連憲章違反は許さない」の世論によるウクライナ侵略の解決が重要ではないか。
- 答** 国際社会は外交的な解決が図られるよう、連帯して努力し続けることが必要と考える。
- 問** ウクライナ危機の最大の教訓は、憲法9条こそが「戦争を起こさせない最も有効なしくみ」ということであり、9条を壊すことには自治体の長として「ノー」の声を上げるべきではないか。
- 答** 憲法の三大原則を堅持し、次の世代に引き継がなければならない。
- 問** 気候危機打開のために、多摩市から石炭火力発電ゼロの声を上げるべきではないか。
- 答** 石炭火力発電は、可能な限り早くゼロにすることが望ましい。

◇厚生荘病院再開を求めていく

- 問** 厚生荘病院閉院は「地域医療提供体制」維持に逆行するものではないか。
- 答** (厚生荘病院の) 建て替えに向けて準備が進むことを願っている。
- 問** 子どもの国保税の減免・軽減について、多摩市の独自策をとるべきではないか。
- 答** 国と東京都に軽減策がさらに充実するよう強く要望していく。
- 問** 補聴器購入費補助に踏み出すべきではないか。
- 答** 介護保険などの第9期(2024~26年度)計画に向けた高齢者実態調査のなかでニーズ把握に努める。

